

用 務：家族計画問題について調査

連絡機関：厚生省児童家庭局母子衛生課

○ Miss H. Damas: Centre d'Etude de la Population et de la Famille, Belgium

Prof. José A. Sporck: Prof. à L'Université de Liège Chaire de Géographie Economique

他 2 名

年 月 日：1971年 9 月 6 日

用 務：日本の人口および労働力の現状と将来に関する意見の交換

連絡機関：東京都立大学理学部地理学教室

○ Mr. James W. White: Associate Professor, Political Science Department, University of North Carolina

年 月 日：1971年 9 月 22 日

用 務：人口移動の研究状況聴取

○ Mr. Alfred D. Sollins: Consultant, The Population Council, Mexico

Mr. Henry Birnbaum: National Science Foundation

年 月 日：1971年 9 月 30 日

用 務：日本における人口問題調査研究状況視察

連絡機関：アメリカ大使館, NIH太平洋事務局

日 本 統 計 学 会 第 39 回 総 会

昭和46年度の日本統計学会（会長・伊大知良太郎）総会ならびに研究報告会は、7月9日（金）、10日（土）の両日にわたり、関西大学経済学部（大阪・吹田市）において開催された。本研究所からは上田正夫（人口政策部長）、山口喜一（主任研究官）の両技官が出席した。

研究報告会は第2学舎3号館内の二つの会場で行なわれたが、予定されたプログラムにおける一般講演は43題であった。そのうち、人口に関連のある報告としては次のものがあった。

死因分類（疾病分類）の比較的研究……………飯 淵 康 雄（関西医大）

都市化現象にみる統計法則……………小 出 保 治（岐阜歯大）

都市人口の度数分布に及ぼす都市面積の効果……………鈴木 啓 祐（流通経大）

明治・大正年間の人口推計と人口動態……………安川 正 彬・広岡桂二郎（慶 応 大）

年齢別有配偶率と婚姻との関係の地域的分析……………上 田 正 夫（人口問研）

本年度は共通テーマ報告は行なわれなかったが、特別講演としては、江見康一氏（一橋大）の「日本の経済成長の長期統計観察」があった。（山口喜一記）

第 2 回 ア ジ ア 人 口 会 議 第 2 回 準 備 委 員 会

1971年5月18日から同20日まで、バンコクにおいて、エカフェ主催の標記の委員会（The Second Meeting of the Preparatory Committee for the Second Asian Population Conference）が開催された。

第1回準備委員会は、1970年6月10日～13日、同じくバンコクにおいて開催されたが（それについては、本誌第115号の雑報欄参照）、今回はそれに続く第2回目の準備委員会である。

今回の準備委員会には、韓国、マレーシア、およびアメリカ合衆国からの委員が欠席し、他の国からの6名が出席して行なわれた。日本からは人口問題研究所の館 総所長が委員として出席、他にオブザーバーと